

www.philips.com/welcome

JA ユーザーマニュアル	1
顧客ケアと保証	19
トラブルシューティング & FAQ	22

目次

1. 重要	1
1.1 安全のための注意事項とメンテナンス	1
1.2 表記の説明	2
1.3 製品と梱包材料の廃棄	3
2. クラウドモニタベースの設定	4
2.1 取り付け	4
2.2 クラウドモニタベースの操作	6
2.3 Citrixサーバーの要件	7
3. クラウドモニタベース	8
3.1 これは何ですか?	8
3.2 電源キー機能	9
3.3 クラウドモニタベースのユーザーインターフェース	9
4. 技術仕様	14
5. 規制情報	16
6. 顧客ケアと保証	19
6.1 顧客ケアと保証	19
7. トラブルシューティング& FAQ	22
7.1 トラブルシューティング	22

1. 重要

この電子ユーザーズガイドは、Philips クラウドモニタベースを使用するユーザーを対象にしています。クラウドモニタベースを使用する前に、本ユーザーマニュアルをよくお読みください。モニタの操作に関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips 保証は、その操作指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

⚠ 警告

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電気の障害、機械的災害につながる可能性があります。

クラウドモニタベースを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

操作

- クラウドモニタベースを直射日光やきわめて明るい光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。これらの環境に長時間さらされると、クラウドモニタベースが変色したり損傷する結果を招きます。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、クラウドモニタベースの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- クラウドモニタベースの位置を定めるとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでクラウドモニタベースの電源を

オフにする場合、6秒待ってから電源ケーブルやDC電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。

- 常に、Philipsが提供する認可された電源コードを使用してください。電源コードが不足している場合、最寄りのサービスセンターにご連絡ください。(顧客ケア消費者情報センターにお問い合わせください)
- 操作中、クラウドモニタベースを強い振動や高い衝撃条件にさらさないでください。
- 操作または輸送中、クラウドモニタベースを強く打ったり落としたりしないでください。

メンテナンス

- クラウドモニタベースを損傷の可能性から保護するために、LCDパネルに過剰な圧力をかけないでください。クラウドモニタベースを移動するときには、フレームをつかんで持ち上げます。LCDパネルに手や指を置いてクラウドモニタベースを持ち上げないでください。
- 長時間使用する予定がない場合、クラウドモニタベースのプラグを抜いてください。
- わずかに湿らせた布で清掃する必要がある場合、クラウドモニタベースのプラグを抜いてください。電源をオフにしているとき、画面を乾いた布で拭くことができます。ただし、アルコール、アンモニア基剤の液体などの有機溶剤を使用してクラウドモニタベースを清掃することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、クラウドモニタベースを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- クラウドモニタベースが濡れたら、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- クラウドモニタベースに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。それから、異物や水

1. 重要

を取り除き、メンテナンスセンターに送ってください。

- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でクラウドモニタベースを保管したり、使用したりしないでください。
- お使いのクラウドモニタベースの最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、クラウドモニタベースは次の温度および湿度範囲に入る場所で使用してください。
 - 温度: 0〜40°C
 - 湿度: 20〜80% RH

修理

- ケースカバーは専門の修理要員しか開けることができません。
- 修理または統合でマニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。(「消費者情報センター」の章を参照してください)
- 輸送情報については、「技術仕様」を参照してください。
- 直射日光下の車トランクにクラウドモニタベースを放置しないでください。

注

クラウドモニタベースが正常に作動しない場合、または本書に記載された操作指示に従っているときに手続き方法が分からない場合、修理スタッフにお問い合わせください。

1.2 表記の説明

次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

注、注意、警告

本書を通して、テキストのブロック k にはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。これらのブロックには注、注意、警告が含まれます。次のように使用されます。

注

このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムをもっと有効に活用する助けとなるものです。

注意

このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法に関する情報を示します。

警告

このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を示します。

警告には代わりの形式で表示され、アイコンが付かない場合もあります。このような場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。

1.3 製品と梱包材料の廃棄

廃電気電子機器 -WEEE



This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new cloud monitor base contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old cloud monitor base and packing from your sales representative.

Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the importance of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails

participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

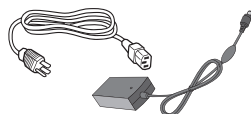
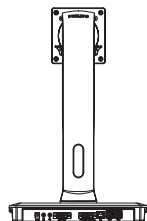
To learn more about our recycling program please visit

<http://www.philips.com/sites/philipsglobal/about/sustainability/ourenvironment/productrecyclingservices.page>

2. クラウドモニタベースの設定

2.1 取り付け

1 パッケージに含まれるもの



AC/DC アダプタ



DVI



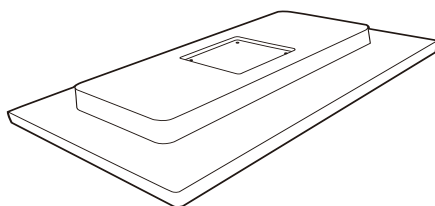
LAN ケーブル



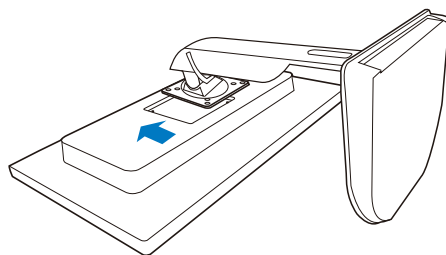
USB ケーブル

2 お使いのモニタにクラウドモニタベースを取り付ける

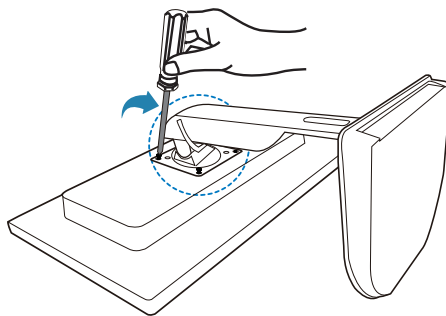
1. モニタ面を下にして、滑らかな面に置きます。画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように注意してください。



2. VESAマウント部にベースがカチッとはめ込みます。

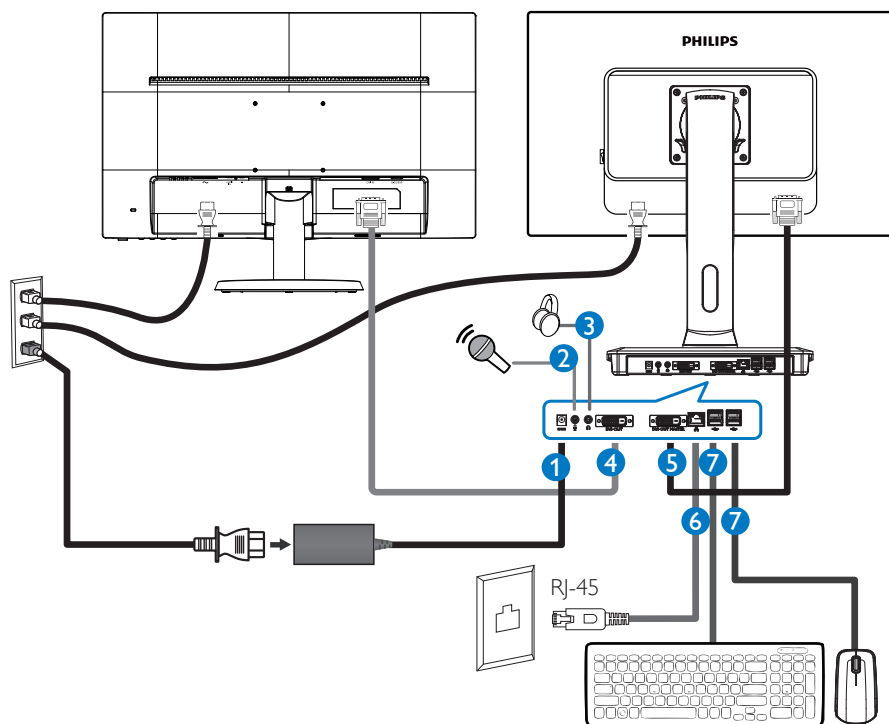


3. ドライバーを使って、4本のネジを締めてください。



2. クラウドモニタベースの設定

3 モニタとサーバーへの接続



① 12V DC, 3A アダプター入力

② マイク入力

③ イヤホンジャック

④ DVI 出力スレーブ

⑤ DVI 出力マスター

⑥ Ethernet (10/100/1000 Mbps)

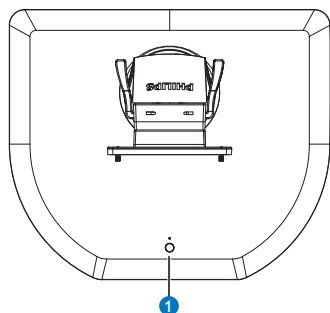
⑦ USB port 2.0


クラウドモニタベースへの接続

1. モニタ信号ケーブルを、クラウドモニタベースの背面のビデオコネクタに接続します。
2. RJ-45 LANケーブルをクラウドモニタベースの背面のLANポートに接続します。
3. クラウドモニタベースとモニタの電源コードを近くのコンセントに差し込みます。
4. クラウドモニタベースとモニタの電源をオンにします。モニタに画像が表示されたら、取り付けは完了です。

2.2 クラウドモニタベースの操作

1 コントロールボタンの説明



1		<p>電源のオン・オフ切り替え。 電源キーを押して、電源をオンにします。電源キーを6秒間押したままにすると、電源がオフになります。</p>
---	---	---

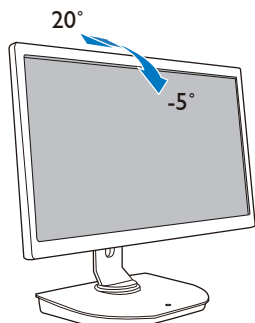
注

お使いのクラウドモニタベースが DC オフモードの場合、ホストサーバー管理者は Wake On LAN (WOL) 機能を利用でき、WOL が有効なときは電源 LED が 1 秒間隔で点滅します。

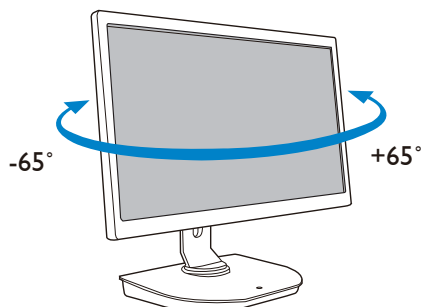
クラウドモニタベースが DC オフモードの場合、USB ポートは 5V のスタンバイ電力をサポートしていません。

2 物理的機能

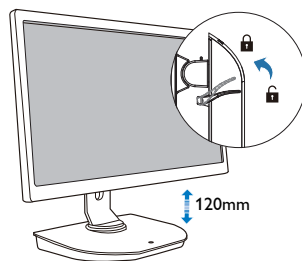
傾き



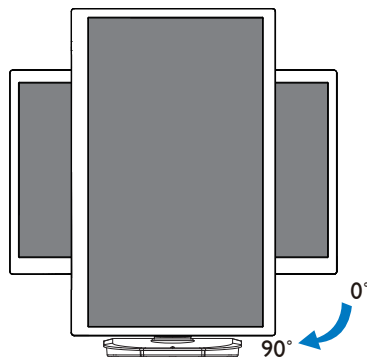
スイベル



高さ調節



ピボット



2.3 Citrixサーバーの要件

1 Citrix ソフトウェア

1. Windows 7 SP1 (32ビットまたは64ビット) 上でXenDesktop 5.5以上
2. Windows server 2008 R2上でXenApp 6.5以上
3. Windows 7 SP1 (32ビットまたは64ビット) 上の仮想マシン (VDI-In-a-Box 5.0以上)

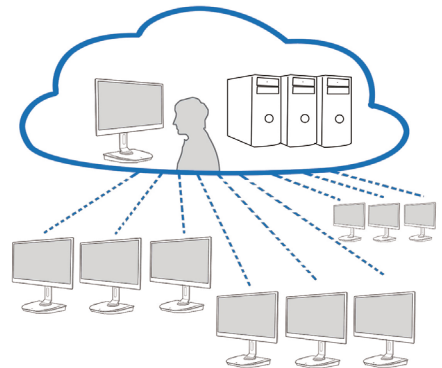
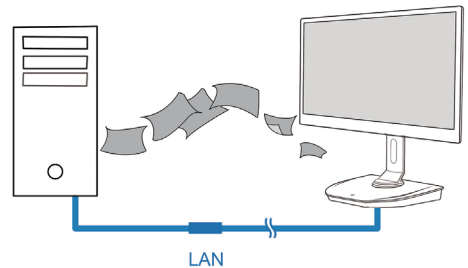
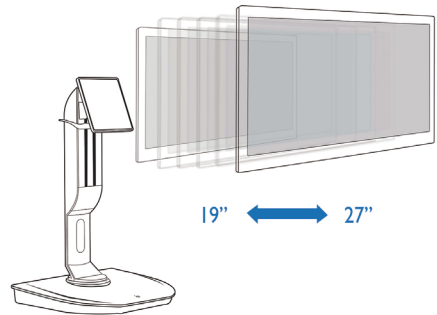
2 ネットワーク:

最小遅延の 1Gbps LAN

3. クラウドモニタベース

3.1 これは何ですか？

Philips クラウドモニタベースは仮想デスクトップインフラストラクチャー (VDI) 用に設計されたゼロ / シンククライアントソリューションです。VDI は IT 組織に大きな柔軟性、管理性、セキュリティ、コスト削減を提供します。VDI を使用すると、IT 管理者はより簡単に新しいシステムおよびアップデートの変更を組織に適用するための IT ニーズに対応できます。VDI の集中化された性質はまた、システムの優れた管理性とセキュリティを IT 管理者に提供します。さらに、VDI を使用して、IT 組織はインフラストラクチャおよび電力コストの削減によって、IT セットアップのコストを節約できます。Philips クラウドモニタベースは VESA マウント規格を持った既存の 19 - 27 インチ / 48.2 - 68.6cm モニタを柔軟に取り付けできます。



3.2 電源キー機能

1 クラウドモニタベースの操作

1. 電源キーを短く押して、電源をオンにします。
2. 電源キーを6秒間押したままにすると、電源がオフになります。
3. AC電源を差し込むと、電源LEDが1秒間点灯し、その後消えます。このアクションはWOL機能を待機状態にセットし、クラウドモニタベースの電源はオフになります。
4. クラウドモニタベースがDCオフモードの場合、USBポートは5Vのスタンバイ電力をサポートしません。

3.3 クラウドモニタベースのユーザーインターフェース

1 クラウドモニタベースを使用するための接続

1. LANケーブルを使用して、ルーターとクラウドモニタベースを接続します。
2. キーボードとマウスをクラウドモニタベースに接続します。
3. 電源コードを使用して、クラウドモニタベースをコンセントに接続します。
4. 電源ボタンを押して、クラウドモニタベース機能の電源をオンにします。

2 クラウドモニタベースの操作ユーザーインターフェース

1. Outline(概要)



3. クラウドモニタベースのファームウェア

2. Login widget(ログインウィジェット)



ラベル	説明
Protocol (プロトコル)	接続のプロトコルタイプを表示します。
Server IP (サーバーIP)	ユーザーの接続先であるCitrix XenDesktop/XenApp/VDI-in-a-BoxサーバーのIPアドレスを入力します。
Username (ユーザー名)	ユーザーアカウント名を入力します。
Password (パスワード)	ユーザーアカウントパスワードを入力します。
Domain (ドメイン)	Citrixサーバーのドメイン名を入力します。この欄はオプションです。
Login (ログイン)	このボタンを押すと、接続情報がCitrixサーバーに渡され、VDIリストが表示されます。

3. ステータス行



メニュー項目	説明
	このアイコンはネットワークケーブルの接続ステータスを表示します。ケーブルが緩い/抜けている、または再挿入されると変化します。
Wed Aug 28 18:13 2013	この欄は、ローカルのクラウドモニタベースシステムの日付と時刻を表示します。ユーザーはこの日付/時刻を時間設定ウィンドウで更新できます。

3. クラウドモニタベースのファームウェア

4. メニュー項目



メニュー項目	説明
	ログインウィジェットを閉じ、「Power(電源)」メニューを開きます。これには「Reboot(再起動)」、「Power off(電源オフ)」、「Close(閉じる)」機能が含まれます。
 	「Volume Control Tool (音量コントロールツール)」を開きます。音量が0に設定されている場合には、アイコンは変更されます。
	ログインウィジェットを閉じ、「Settings(設定)」メニューを開きます。ユーザーは「Display(表示)」、「Keyboard(キーボード)」、「Language(言語)」、「Mouse(マウス)」、「Network(ネットワーク)」、「Time(時間)」機能の設定を変更できます。
	ログインウィジェットを閉じ、「Network Test Tool (ネットワークテストツール)」を開きます。ユーザーは宛先IPへのネットワーク接続を確認できます。
	ログインウィジェットを閉じ、「System Information Window(システム情報ウィンドウ)」を開きます。

3 クラウドモニタベースのネットワーク設定

デフォルトの設定では、クラウドモニタベースはシステム起動時に DHCP にローカル IP を要求します。ユーザーは「Settings (設定)」メニューから「Network (ネットワーク)」ウィンドウを開き、ネットワーク設定に DHCP または静的 IP を選択できます。

DHCP

Network

Network
Configure network IP

Network

Network Status:

- DHCP
- Static IP

IP Address : 10. 10. 10. 28

Subnet Mask : 255. 255. 255. 0

Default Gateway : 10. 10. 10. 254

DNS : 10. 10. 10. 100

Apply

Overview

Close

Static IP(静的 IP)

Network

Network
Configure network IP

Network

Network Status:

- DHCP
- Static IP

IP Address : 192. 168. 0. 111

Subnet Mask : 255. 255. 255. 0

Default Gateway : 192. 168. 0. 254

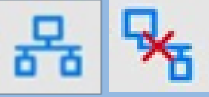
DNS : 192. 168. 0. 100

Apply

Overview

Close

3. クラウドモニタベースのファームウェア

ラベル	説明
Network Status(ネットワークステータス) 	この項目はネットワークケーブルの接続ステータスアイコンを表示します。 ケーブルが緩い / 抜けている、または再挿入されるとこのアイコンは変化します。
DHCP	<p>ローカル IP を取得するために DHCP モードを指定するにはこの項目を選択します。これは「IP Address (IP アドレス)」、「Subnet Mask (サブネットマスク)」、「Default Gateway (デフォルトゲートウェイ)」、「DNS」フィールドをロックし、DHCP サーバーからこれらの値を更新します。</p> <p>ユーザーが「Apply (適用)」ボタンを押すと、システムは DHCP サーバーに DHCP リクエストを送信し、DHCP サーバーから配布される IP を取得します。 その後、システムは新しい IP アドレスに「IP Address (IP アドレス)」欄を更新します。</p>
Static IP(静的 IP)	<p>静的メソッドを指定するには、この項目を選択します。 これは「IP Address (IP アドレス)」、「Subnet Mask (サブネットマスク)」、「Default Gateway (デフォルトゲートウェイ)」、「DNS」フィールドを解除し、これらの値を手動で変更することを可能にします。</p> <p>ユーザーが「Apply (適用)」ボタンを押すと、システムはクラウドモニタベースに固定 IP を設定します。</p>
IP Address(IP アドレス)	<p>クラウドモニタベースの IP アドレス。 この値は静的 IP モードで変更可能となります。</p> <p>このフィールドはネットワークケーブルが緩い / 抜けている場合には 0.0.0.0 にクリアされ、ユーザーがネットワークケーブルを再接続すると自動的に更新されます。</p>
Subnet Mask (サブネットマスク)	<p>クラウドモニタベースのサブネットマスク。 この値は静的 IP モードで変更可能となります。</p> <p>このフィールドはネットワークケーブルが緩い / 抜けている場合には 255.255.255.0 にリセットされ、ユーザーがネットワークケーブルを再接続すると自動的に更新されます。</p>
Default Gateway(デフォルトゲートウェイ)	<p>クラウドモニタベースのデフォルトゲートウェイアドレス。 この値はオプションで、静的 IP モードでは変更可能です。</p> <p>このフィールドはネットワークケーブルが緩い / 抜けている場合には 0.0.0.0 にクリアされ、ユーザーがネットワークケーブルを再接続すると自動的に更新されます。</p>
DNS	<p>クラウドモニタベースの DNS アドレス。この値はオプションで、静的 IP モードでは変更可能です。</p> <p>このフィールドはネットワークケーブルが緩い / 抜けている場合には 0.0.0.0 にクリアされ、ユーザーがネットワークケーブルを再接続すると自動的に更新されます。</p>
Apply(適用)	<p>このボタンを押すと、DHCP サーバーから IP を取得する、または静的 IP を設定します。</p>

4. 技術仕様

プラットフォーム	
プロセッサ	TI DM8148 Cortex - A8 デュアル
周波数	1Ghz
ROM	2G ビット DDR III X4
RAM	4G バイト EMMC
システム	HDX
クライアントソリューション	Citrix
画像 / ディスプレイ	
垂直リフレッシュレート	56~75Hz
水平周波数	30~83KHz
モニタ最大解像度	1920 × 1080 @ 60Hz
サポートされる解像度	640 × 480 @ 60/67/72/75Hz 800 × 600 @ 56/60/72/75Hz 1024 × 768 @ 60/70/72/75Hz 1280 × 1024 @ 60/75Hz 1440 × 900 @ 60/75Hz 1680 × 1050 @ 60Hz 1920 × 1080 @ 60Hz
エルゴノミクス	
傾き	-5° / +20°
スイベル	-65° / +65°
高さ調節	120mm +/-5mm
ピボット調節	90°
高さ調整ロックシステム	あり
モニタサイズ	19~27 インチの VESA マウント規格のモニタに対応
接続性	
信号入力 / 出力	DVI 出力マスター、DVI 出力
USB	USB 2.0 × 4
イヤホンジャック	あり
マイク入力	あり
LAN ポート	Rj 45
便宜	
ケーブル管理	あり
VESA マウント	100 × 100mm & 75 × 75mm (取り付けネジ付属)
電源	
オンモード	9.2W (標準), 20W (最大)
スタンバイモード (S3)	<1.2 W
オフモード (S5)	<0.5 W
電源 LED インジケータ	オンモード : 白、スタンバイモード : LED なし

4. 技術仕様

電源装置	内蔵、100-240VAC、50/60Hz
スタンバイモードをサポート	Wake on LAN (WOL)

寸法	
スタンド (WxHxD)	310 x 463 x 261 mm
重量	
スタンド	3.0 kg
製品 (梱包付き)	4.8 kg
操作条件	
温度範囲 (操作時)	0°C ~ 40°C
温度範囲 (非操作時)	-20°C ~ 60°C
相対湿度	20% ~ 80%
MTBF	30,000 時間
環境	
ROHS	あり
梱包	100% リサイクル可能
特定物質	100% PVC BFR を含まない筐体
準拠と基準	
規制認可	CB、CU、CE、EMF、CCC、ErP
キャビネット	
色	正面カラム：シルバー、背面カラム：黒、ベース：黒
仕上げ	テクスチャ

注

- クラウドモニターベースが DC オフモードの場合、USB ポートは 5V のスタンバイ電力をサポートしていません。
- このデータは事前の通知なしに変更することがあります。パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。
- クラウドモニターベースは幅 \geq 1024、高さ \geq 720 の解像度をサポートし、両方の DVI-D 出力で最大 1920 x 1200 @ 60Hz (RB) をサポートします。
「RB」とは「空白期間を短くしたモード」を意味します。空白期間を短くしたモード 1920 x 1200 @ 60Hz および 1920 x 1080 @ 60Hz のみでサポートされます。空白期間を短くしたモードに対する標準の空白モードは、クラウドモニターベースがサポートする範囲外のモードです。
- クラウドモニターベースはホットプラグ EDID 検出をサポートしていません。クラウドモニターベースが起動する前にユーザーが DVI-D ケーブルを接続した場合には、システムは対応するビデオ出力のみを有効にします。

5. 規制情報

CE Declaration of Conformity

This product is in conformity with the following standards

- EN60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011 (Safety requirement of Information Technology Equipment).
- EN55022:2010 (Radio Disturbance requirement of Information Technology Equipment).
- EN55024:2010 (Immunity requirement of Information Technology Equipment).
- EN61000-3-2:2006 +A1:2009+A2:2009 (Limits for Harmonic Current Emission).
- EN61000-3-3:2008 (Limitation of Voltage Fluctuation and Flicker) following provisions of directives applicable.
- 2006/95/EC (Low Voltage Directive).
- 2004/108/EC (EMC Directive).
- 2009/125/EC (ErP, Energy-related Product Directive, EU 617/2013 Implementing)
- 2011/65/EU (RoHS Directive)

And is produced by a manufacturing organization on ISO9000 level.

EN 55022 Compliance (Czech Republic Only)

This device belongs to category B devices as described in EN 55022, unless it is specifically stated that it is a Class A device on the specification label. The following applies to devices in Class A of EN 55022 (radius of protection up to 30 meters). The user of the device is obliged to take all steps necessary to remove sources of interference to telecommunication or other devices.

Položek není na typovém štítku počítáno uvedeno, že spadá do třídy A podle EN 55022, spadá automaticky do třídy B podle EN 55022. Pro zařízení zařazená do třídy A (chranné pásmo 30m) podle EN 55022 platí následující. Dojde-li k rušení telekomunikačních nebo jiných zařízení je uživatel povinen provést taková opatření, aby rušení odstranil.

Polish Center for Testing and Certification Notice

The equipment should draw power from a socket with an attached protection circuit (a three-prong socket). All equipment that works together (computer, monitor, printer, and so on) should have the same power supply source.

The phasing conductor of the room's electrical installation should have a reserve short-circuit protection device in the form of a fuse with a nominal value no larger than 16 amperes (A).

To completely switch off the equipment, the power supply cable must be removed from the power supply socket, which should be located near the equipment and easily accessible.

A protection mark "B" confirms that the equipment is in compliance with the protection usage requirements of standards PN-93/T-42107 and PN-89/E-06251.

Wymagania Polskiego Centrum Badań i Certyfikacji

Urządzenie powinno być zasilane z gniazda z przyłączonym obwodem ochronnym (gniazdo z kółkiem). Współpracujące ze sobą urządzenia (komputer, monitor, drukarka) powinny być zasilane z tego samego źródła.

Instalacja elektryczna pomieszczenia powinna zawierać w przewodzie fazowym rezerwową ochronę przed zwarciami, w postaci bezpiecznika o wartości znamionowej nie większej niż 16A (amperów).

W celu całkowitego wyłączenia urządzenia z sieci zasilania, należy wyjąć wtyczkę kabla zasilającego z gniazda, które powinno znajdować się w pobliżu urządzenia i być łatwo dostępne.

Znak bezpieczeństwa "B" potwierdza zgodność urządzenia z wymaganiami bezpieczeństwa użytkowania zawartymi w PN-93/T-42107 i PN-89/E-06251.

Pozostałe instrukcje bezpieczeństwa

- Nie należy używać wtyczek adapterowych lub usuwać kółka obwodu ochronnego z wtyczki. Jeżeli konieczne jest użycie przedłużacza to należy użyć przedłużacza 3-żyłowego z prawidłowo połączonym przewodem ochronnym.
- System komputerowy należy zabezpieczyć przed nagłymi, chwilowymi wzrostami lub spadkami napięcia, używając eliminatora przepięć, urządzenia dopasowującego lub bezzakłóceńowego źródła zasilania.
- Należy upewnić się, aby nic nie leżało na kablach systemu komputerowego, oraz aby kable nie były umieszczone w miejscu, gdzie można byłoby na nie nakładować lub porywać się o nie.
- Nie należy rozłączać napojów ani innych płynów na system komputerowy.
- Nie należy wpychać żadnych przedmiotów do otworów systemu komputerowego, gdyż może to spowodować pożar lub porażenie prądem, poprzez zwarcie elementów wewnętrznych.
- System komputerowy powinien znajdować się z dala od grzejników i źródeł ciepła. Ponadto, nie należy blokować otworów wentylacyjnych. Należy unikać kładek luźnych papierów pod komputer oraz umieszczania komputera w ciasnym miejscu bez możliwości cyrkulacji powietrza wokół niego.

5. 規制情報

North Europe (Nordic Countries) Information

Placering/Ventilation

VARNING:

FÖRSÄKRA DIG OM ATT HUVUDBRYTARE OCH UTGÅNG ÄR LÄTTÅTKOMLIGA, NÄR DU STÄLLER DIN UTRUSTNING PÅ PLATS.

Placering/Ventilation

ADVARSEL:

SØRG VED PLACERINGEN FOR, AT NETLEDNINGENS STIK OG STIKKONTAKT ER NEMT TILGÆNGELIGE.

Paikka/Ilmankierto

VAROITUS:

SIIJOITA LAITE SITEN, ETTÄ VERKKOJOHTO VOIDAAN TARVITTAESSA HELPOSTI IRROTTAA PISTORASIASTA.

Plassering/Ventilasjon

ADVARSEL:

NÅR DETTE UTSTYRET PLASSERES, MÅ DU PASSE PÅ AT KONTAKTENE FOR STØMTILFØRSEL ER LETTE Å NÅ.

BSMI Notice (Taiwan Only)

符合乙類資訊產品之標準

Ergonomie Hinweis (nur Deutschland)

Der von uns gelieferte Farbmonitor entspricht den in der "Verordnung über den Schutz vor Schäden durch Röntgenstrahlen" festgelegten Vorschriften.


Auf der Rückwand des Gerätes befindet sich ein Aufkleber, der auf die Unbedenklichkeit der Inbetriebnahme hinweist, da die Vorschriften über die Bauart von Störstrahlern nach Anlage III α 5 Abs. 4 der Röntgenverordnung erfüllt sind.

Damit Ihr Monitor immer den in der Zulassung geforderten Werten entspricht, ist darauf zu achten, daß

1. Reparaturen nur durch Fachpersonal durchgeführt werden.

2. nur original-Ersatzteile verwendet werden.
3. bei Ersatz der Bildröhre nur eine bauartgleiche eingebaut wird.

Aus ergonomischen Gründen wird empfohlen, die Grundfarben Blau und Rot nicht auf dunklem Untergrund zu verwenden (schlechte Lesbarkeit und erhöhte Augenbelastung bei zu geringem Zeichenkontrast wären die Folge). Der arbeitsplatzbezogene Schalldruckpegel nach DIN 45 635 beträgt 70dB (A) oder weniger.

-  **ACHTUNG: BEIM AUFSTELLEN DIESER GERÄTES DARAUF ACHTEN, DAß NETZSTECKER UND NETZKABELANSCHLUß LEICHT ZUGÄNGLICH SIND.**

China RoHS

The People's Republic of China released a regulation called "Management Methods for Controlling Pollution by Electronic Information Products" or commonly referred to as China RoHS. All products produced and sold for China market have to meet China RoHS request.

中国电子信息产品污染控制标识要求(中国RoHS法规标示要求)产品中有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅(Pb)	汞(Hg)	镉(Cd)	六价铬(Cr6+)	多溴联苯(PBB)	多溴二苯醚(PBDE)
外壳	○	○	○	○	○	○
液晶显示屏/灯管	×	○	○	○	○	○
电路板组件*	×	○	○	○	○	○
电源适配线	×	○	○	○	○	○
电源线/连接线	×	○	○	○	○	○

*: 电路板组件包括印刷电路板及其构成的零部件，如电阻、电容、集成电路、连接器等。

○: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在《电子信息产品中有毒有害物质的限量要求标准》规定的限量要求以下。

×

表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出《电子信息产品中有毒有害物质的限量要求标准》规定的限量要求；但是上表中打“X”的部件，符合欧盟RoHS法规要求（属于豁免的部分）。



环保使用期限

此标识指期限(十年), 电子信息产品中含有的有毒有害物质或元素在正常使用的条件下不会发生外泄或突变, 电子信息产品用户使用该电子信息产品不会对环境造成严重污染或对其人身、财产造成严重损害的期限。

《废弃电器电子产品回收处理管理条例》
提示性说明

为了更好地关爱及保护地球，当用户不再需要此产品或产品寿命终止时，请遵守国家废弃电器电子产品回收处理相关法律法规，将其交给当地具有国家认可的回收处理资质的厂商进行回收处理。

6. 顧客ケアと保証

6.1 顧客ケアと保証

お客様の地域で有効な保証範囲の情報と追加サポート要件の詳細については、www.philips.com/supportWeb サイトにアクセスしてください。以下に一覧した最寄りの Philips 顧客ケアセンターの番号にお問い合わせになることもできます。

西ヨーロッパ地域の連絡先情報：

国	CSP	ホットライン番号	価格	営業時間
Austria	RTS	+43 0810 000206	€ 0.07	Mon to Fri : 9am - 6pm
Belgium	Ecare	+32 078 250851	€ 0.06	Mon to Fri : 9am - 6pm
Cyprus	Alman	+800 92 256	Free of charge	Mon to Fri : 9am - 6pm
Denmark	Infocare	+45 3525 8761	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Finland	Infocare	+358 09 2290 1908	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
France	Mainteq	+33 082161 1658	€ 0.09	Mon to Fri : 9am - 6pm
Germany	RTS	+49 01803 386 853	€ 0.09	Mon to Fri : 9am - 6pm
Greece	Alman	+30 00800 3122 1223	Free of charge	Mon to Fri : 9am - 6pm
Ireland	Celestica	+353 01 601 1161	Local call tariff	Mon to Fri : 8am - 5pm
Italy	Anovo Italy	+39 840 320 041	€ 0.08	Mon to Fri : 9am - 6pm
Luxembourg	Ecare	+352 26 84 30 00	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Netherlands	Ecare	+31 0900 0400 063	€ 0.10	Mon to Fri : 9am - 6pm
Norway	Infocare	+47 2270 8250	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Poland	MSI	+48 0223491505	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Portugal	Mainteq	+800 780 902	Free of charge	Mon to Fri : 8am - 5pm
Spain	Mainteq	+34 902 888 785	€ 0.10	Mon to Fri : 9am - 6pm
Sweden	Infocare	+46 08 632 0016	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Switzerland	ANOVO CH	+41 02 2310 2116	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
United Kingdom	Celestica	+44 0207 949 0069	Local call tariff	Mon to Fri : 8am - 5pm

中国の連絡先情報：

国	コールセンター	顧客ケア番号
China	PCCW Limited	4008 800 008

北米の連絡先情報：

国	コールセンター	顧客ケア番号
U.S.A.	EPI-e-center	(877) 835-1838
Canada	EPI-e-center	(800) 479-6696

6. 顧客ケアと保証

中央および東ヨーロッパ地域の連絡先情報：

国	コールセンター	CSP	顧客ケア番号
Belarus	NA	IBA	+375 17 217 3386 +375 17 217 3389
Bulgaria	NA	LAN Service	+359 2 960 2360
Croatia	NA	MR Service Ltd	+385 (01) 640 1111
Czech Rep.	NA	Asupport	+420 272 188 300
Estonia	NA	FUJITSU	+372 6519900(General) +372 6519972(workshop)
Georgia	NA	Esabi	+995 322 91 34 71
Hungary	NA	Profi Service	+36 1 814 8080(General) +36 1814 8565(For AOC&Philips only)
Kazakhstan	NA	Classic Service I.L.c.	+7 727 3097515
Latvia	NA	ServiceNet LV	+371 67460399 +371 27260399
Lithuania	NA	UAB Servicenet	+370 37 400160(general) +370 7400088 (for Philips)
Macedonia	NA	AMC	+389 2 3125097
Moldova	NA	Comel	+37322224035
Romania	NA	Skin	+40 21 2101969
Russia	NA	CPS	+7 (495) 645 6746
Serbia&Montenegro	NA	Kim Tec d.o.o.	+381 11 20 70 684
Slovakia	NA	Datalan Service	+421 2 49207155
Slovenia	NA	PC H.and	+386 1 530 08 24
the republic of Belarus	NA	ServiceBy	+375 17 284 0203
Turkey	NA	Tecpro	+90 212 444 4 832
Ukraine	NA	Topaz	+38044 525 64 95
Ukraine	NA	Comel	+380 5627444225

ラテンアメリカ地域の連絡先情報：

国	コールセンター	顧客ケア番号
Brazil	Vermont	0800-7254101
Argentina		0800 3330 856

APMEA 地域の連絡先情報：

国	ASP	顧客ケア番号	営業時間
Australia	AGOS NETWORK PTY LTD	1300 360 386	Mon.~Fri. 9:00am-5:30pm
New Zealand	Visual Group Ltd.	0800 657447	Mon.~Fri. 8:30am-5:30pm
Hong Kong Macau	Company: Smart Pixels Technology Ltd.	Hong Kong: Tel: +852 2619 9639 Macau:Tel: (853)-0800-987	Mon.~Fri. 9:00am-6:00pm Sat. 9:00am-1:00pm
India	REDINGTON INDIA LTD	Tel: 1 800 425 6396 SMS: PHILIPS to 56677	Mon.~Fri. 9:00am-5:30pm
Indonesia	PT. CORMIC SERVISINDO PERKASA	+62-21-4080-9086 (Customer Hotline) +62-8888-01-9086 (Customer Hotline)	Mon.~Thu. 08:30-12:00; 13:00-17:30 Fri. 08:30-11:30; 13:00-17:30
Korea	Alphascan Displays, Inc	1661-5003	Mon.~Fri. 9:00am-5:30pm Sat. 9:00am-1:00pm
Malaysia	R-Logic Sdn Bhd	+603 5102 3336	Mon.~Fri. 8:15am-5:00pm Sat. 8:30am-12:30am
Pakistan	TVONICS Pakistan	+92-213-6030100	Sun.~Thu. 10:00am-6:00pm
Singapore	Philips Singapore Pte Ltd (Philips Consumer Care Center)	(65) 6882 3966	Mon.~Fri. 9:00am-6:00pm Sat. 9:00am-1:00pm
Taiwan	FETEC.CO	0800-231-099	Mon.~Fri. 09:00 - 18:00
Thailand	Axis Computer System Co., Ltd.	(662) 934-5498	Mon.~Fri. 8:30am~05:30pm
South Africa	Computer Repair Technologies	011 262 3586	Mon.~Fri. 8:00am~05:00pm
Israel	Eastronics LTD	1-800-567000	Sun.~Thu. 08:00-18:00
Vietnam	FPT Service Informatic Company Ltd. - Ho Chi Minh City Branch	+84 8 38248007 Ho Chi Minh City +84 5113.562666 Danang City +84 5113.562666 Can tho Province	Mon.~Fri. 8:00-12:00, 13:30- 17:30,Sat. 8:00-12:00
Philippines	EA Global Supply Chain Solutions ,Inc.	(02) 655-7777; 6359456	Mon.~Fri. 8:30am~5:30pm
Armenia Azerbaijan Georgia Kyrgyzstan Tajikistan	Firebird service centre	+97 14 8837911	Sun.~Thu. 09:00 - 18:00
Uzbekistan	Soniko Plus Private Enterprise Ltd	+99871 2784650	Mon.~Fri. 09:00 - 18:00
Turkmenistan	Technostar Service Centre	+(99312) 460733, 460957	Mon.~Fri. 09:00 - 18:00
Japan	フィリップスモニター・サ ポートセンター	0120-060-530	Mon.~Fri. 10:00 - 17:00

7. トラブルシューティング & FAQ

7.1 トラブルシューティング

このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips 顧客サービス担当者にお問い合わせください。

1 よくある問題

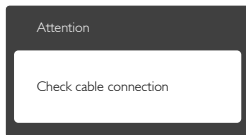
写真が表示されない (電源 LED が点灯しない)

- 電源コードがコンセントとクラウドモニタベースの背面に差し込まれていることを確認してください。
- まず、モニタ前面の電源ボタンがオフ位置にあることを確認してから、オン位置まで押します。

写真が表示されない (電源 LED が白くなっている)

- クラウドモニタベースの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがクラウドモニタベースに適切に接続されていることを確認してください。
- モニタケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります

画面に次のようなメッセージが表示される



- モニタケーブルがクラウドモニタベースに適切に接続されていることを確認してください。(また、クイックスタートガイドも参照してください)。
- モニタケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- クラウドモニタベースの電源がオンになっていることを確認してください。

煙やスパークの明らかな兆候がある

- いかなるトラブルシューティング手順の行わないでください
- 安全のため、直ちに主電源からモニタの接続を切ってください
- 直ちに、Philips顧客サービス担当者に連絡してください。



© 2014 Koninklijke Philips N.V. 無断複製および転載を禁じます。

PhilipsとPhilips Shield Emblemは
Koninklijke Philips N.V.の登録商標で、
Koninklijke Philips N.V.からライセンスを受けて使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン: M4SB4B1927CE1T